

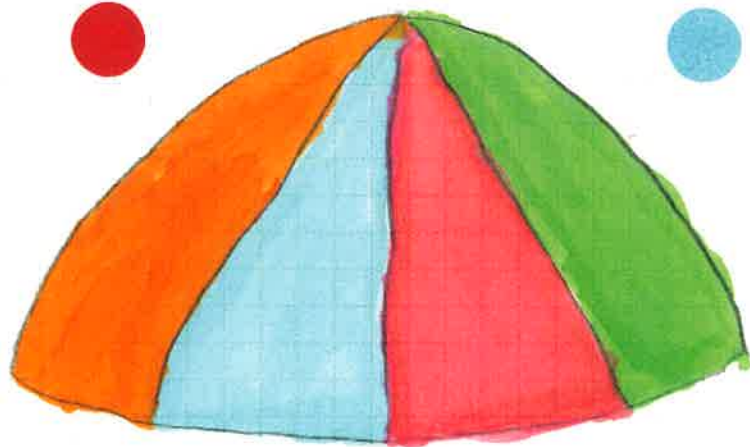
しょうがいを持つ子ども
いっしょに楽しめる遊びについて

めいちゃん

『しょうがいを持つ子もいっしょに
楽しめる遊びについて』

目次

- はじめに
- 『横浜チャレンジスポーツ』について
- 遊びを考える
- わたしの考えたパラバルーン(ミニ
バルーン)を使った遊び
- おわりに



はじめに

わたしは、まちの中でしょうがいのある人に会うたびに、どんなしょうがいなのか、どんなことが出来ないのか、おずかしいのか、気になっていました。

そもそもしょうがい。て何だろう。ほかの人とちがう。てどこがちがうのだろう。大へんなのかな…そういう事が頭にうかんでいました。

2年生の夏(2018.7.16)に『横浜チャレンジスポーツ』の親子ボランティアのを知って、「行きたい!」と思いました。しょうがいを持つ子といっしょにスポーツをする。そしてそのお手伝いもする。

さいしょにさんかした時は、とてもきんちょうしました。でも、みんなが楽しそうに遊んで、あら、ているのがうれしか、たです。そして、自由に動けない子でも遊ぶのは好きなんだと思いました。



『横浜チャレンジスポーツ』について

『横浜チャレンジスポーツ』には

- ・ チャレンジテニス
 - ・ 風せんバレー
 - ・ 電動車いすサッカー
 - ・ ボッチャ
 - ・ かけっこリレー
 - ・ サッカー（エアスタジアムで）
- があります。
どのスポーツもしょうがいのある子どもも楽しめるように工夫されています。

・ チャレンジテニス

ネット越しにボールをうって
出来た数を数えます。
うちやすいボールをなげる
ところと、ラケットを持つ手の
サポートをします。



・ 風せんバレー

すずの入っている大きな風
せんをうち合います。
パスをする時はゆっくりお
たします。



・ 電動車いすサッカー

横浜クラッカーズの方のサポートで電動車いすにのって、自分で動かしたり、ボールをシュートしたりします。



・ ボッチャ

横浜ボッチャきょうかいのの方のサポートで、ボッチャの勝負をします。自分でなげることが出来ない子はスロープを使います。



・ かけっこリレー

チームに分かれてたすきをながぐりレーをします。時間の中で何じゃん出来たかを数えます。



・ サッカー(エアスタジアムで)

NPO 法人トラックスの方のサポートでサッカーを楽しみます。参加者によっていろいろなルールでサッカーをします。



わたしはこれまで5回『横浜チャレンジ
スポーツ』に参加しました。そこでかんじ
たことは、しょうがいを持つ子の出来ないこ
とも気をつけるより、出来ることをいやすの
が大切だということでした。
さいしょはボランティアとして助けることを
気にしていましたが、だんだんとみんなに
会うのが楽しみになり、いっしょに楽しむ事で
しょうがいを持つ子と友だちになることが
出来ました。

そして、わたしはしょうがいを持つ友だち
と もっといっしょに楽しめる遊びを考えたい!!
と思うようになりました。なぜなら、子ども
はちょっとあきっぽいので、何回もいっしょに
参加している友だちもわたしも、何か新しい
チャレンジスポーツがしたいと思っていたか
らです。スポーツを考えるのは少しむずかし
いので、遊びを考える事にしました。
特に重度のしょうがいを持つ友だちに、もっと
自分でやっている、いっしょにやっているかん
じを持てる遊びを考えたいと思いました。



遊びを考える

重度のしょうがいを持つ友だちは、手が少しだけ動かしたり、足が少しだけ動かしたり、頭が少しだけ動かしたりで、力はとても弱いのです。でも、好きな色があったり、やりたいじゃん番があったり、やりたい気持ちはいっぱいあるように思いました。

そんな友だちといっしょに出来る遊びとして

- ・かけっこリレーのようにチームでやるのがいい
 - ・風せんばレーのように弱い力でも出来るのがいい
 - ・カラフルな色があるといい
 - ・さいごにごほうびタイムのようなすてきなことがあるといい
- の4つをかなえるようなものはないかと考えました。

そして、お母さんといっしょにいろいろな本を見たり、インターネットで調べたりしました。その中でわたしが「いいな」と思ったのは次の写真です。



この写真は
Strategies for Inclusion
Physical Education for Everyone
(Lauren J. Lieberman, Cathy Houston-
Wilson)

というえい語の本にのっていました。
これは、パラバルーンです。パラバルーン
とは、円形の軽い布のぶちをみんなが持って、
タイミングを合わせて上げたり下げたり、
回ったりします。

わたしはようち園の運動会でパラバルーン
をやっていたので、これがいい!! みんなで
パラバルーンが出来たらいいなあと思いま
した。



ようち園の時の
パラバルーン

でも、大きなパラバルーンは力がいるので
少しおずかしいとも思いました。
そこで、パラバルーンより小さいミニバル
ーンならどうかなあと考えました。



ようち園の時の ミニバルーン

ミニバルーンなら持つ人が力を合わせれば、
弱い力の友だちでもいっしょに出来るのでは
ないかと思いました。

そこで、どれくらいの大きさのミニバルーン
がいいのか、何人でやるのがいいのか、いろい
ろためしてみました。

さいしょは2人くらいでとても小さなミニバ
ルーンを考えました。家の中にある円い
カーペットが直径1.4メートルだったので、
ビニールを切って作ってみました。



しかし、これはあまりよくありませんでした。
小さい方が軽くて弱い力で持てますが、2人
や3人より4人の方が安定することが分かっ
ました。4人だと持つ場所のバランスもとり
やすく、安定しました。そして4人にちょう
どいい大きさとしてインターネットでみつけ
た直径2メートルのミニバルーンを使うこと
にしました。



直径：約2m

カラー：4色

持ち手：8個



わたしの考えたパラバルーン(ミニバルーン)を使った遊び

わたしの考えたパラバルーン(ミニバルーン)を使った遊びは、まず直径2メートルのミニバルーンを4人で持ちます。なるべくバランスよく、でも出来るだけ好きな色のところを持ちます。そして、風せんをミニバルーンの上にのせて、風せんを上にとばしてキャッチとばしてキャッチをします。目ひょうの回数を決めて、続けて出来るように力を合わせます。



上手に出来るようになったら、回数を多くしたり、風せんをふやしたりするとむずかしくなってまた楽しめます。

☆ごほうびタイム

決めた目ひょうの回数出来たチームは、ごほうびタイムです。

ごほうびタイムはボランティアの方に手伝ってもらって、大きなパラバルーンの中に入ります。わたしはこのカラフルなパラバルーンの中にしょうがいを持つ友だちといっしょに入りたい!! とパラバルーンを思いうかべた時に思ったので、これをごほうびタイムにしました。みんながわくわくドキドキな気持ちになりたいです。



おおりに

わたしは、しょうがいを持つ子も持たない子もいっしょに楽しめるような遊びを考えました。

なぜなら、しょうがいを持つ子のお母さんが、しょうがいを持たない子といっしょに遊べるのはすごくうれしい事で、とてもよろこんでいるんだよ と言ってくれたからです。だからもっとしょうがいを持つ子だけでなく、ふつうの子にもたくさん来てほしいです。そのためにはふつうの子も楽しめる事が大事だと思いました。

わたしもさいしょはきんちょうして、どうしたらいいか分からなかったけど、何回も会っていると友だちになりました。だからわたしの考えた遊びがきっかけになって、友だちがたくさん出来たらうれしいです。



横浜チャレンジャーズスポーツの写真はホームページにあるものをおかりしました。